

## 「伊陸夢プラン」の取り組みに向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也  
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

平成30年4月に「伊陸夢プラン支援協議会」が発足して早いもので4年が経とうとしています。順調な滑り出しと思っていたのも束の間、令和2年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、活動の自粛を余儀なくされるような活動ができない状態が続いています。

その中においても昨年は、「今できる事を形にしたい。」との思いから例年の「納涼の夕べ」に変わるイベントとして「いかちの今と昔」を企画いたしました。残念ながら直前の新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により中止となってしまいましたが、みんなで知恵を出し合い協力する事の大切さを再確認いたしました。また、コロナ禍での取り組みを模索し企画した「球技大会」は無事に開催することができました。ひとえに皆さまのご協力のおかげだと感謝いたしております。

さて、昨年8月に皆さまのご協力をいただき「デマンド型交通（予約制乗合タクシー）」についてのアンケートを行いました。伊陸地区交通対策検討委員会では結果を元に協議を重ねているところです。本年10月運行開始を目指し、今後は各地区での説明会など行っていく予定です。「デマンド交通（予約制乗合タクシー）」について皆様の理解を深め、スムーズな運行開始を目指して参りたいと考えております。ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

一昨年掲げた2つの柱のうちの一つ、「防災意識向上」に向けた取り組みについては、昨年「自治会長集会」において、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域住民の自主防災意識と、地域ぐるみで共助の防災活動を展開させる防災対策としての「自主防災組織結成」についての説明を行いました。現在伊陸地区では、4自治会で自主防災組織が結成されています。いつ起こるか分からない災害に備え危機感を共有し、いざという時に共助し合える強い地域づくりを目指し、一つでも多くの自主防災組織が設立できるよう、今後も防災対策強化に努めて参りたいと思います。

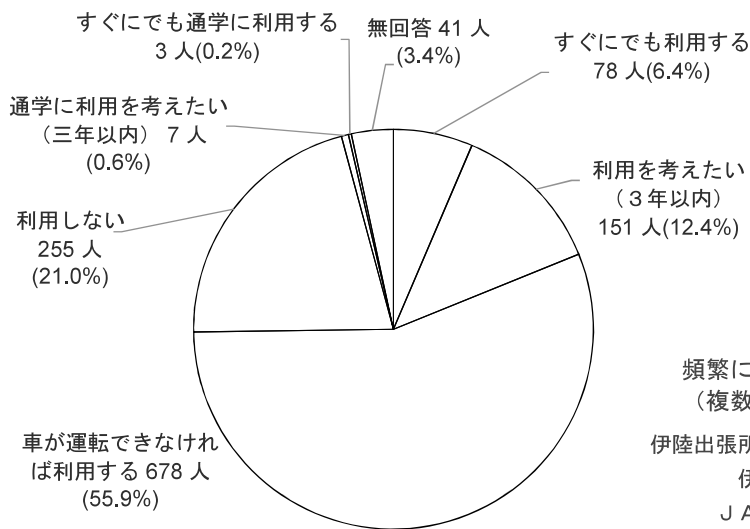
「伊陸夢プラン」の実現に向け、なお一層の努力を重ねて参りたいと存じます。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、裏面には「交通手段に関する調査」アンケート結果を掲載しております。

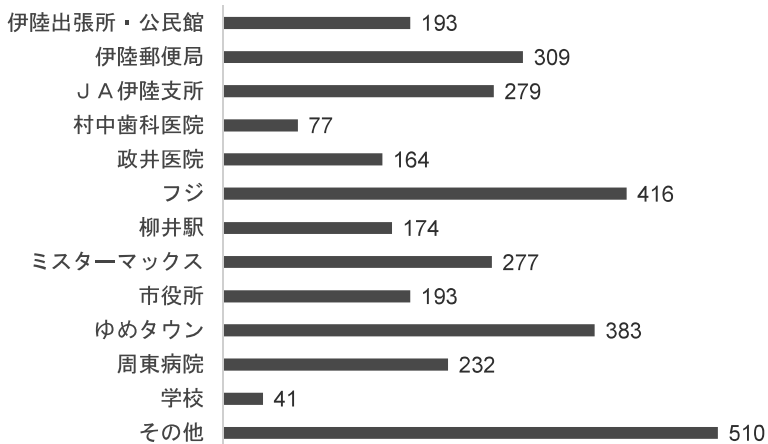
※例年この時期開催しておりますキャベツ祭りについては、1月30日（日）に開催すべく準備を進めておりますが、今後の新型コロナ感染症の感染状況を見極め、次回1月27日の自治会長便にて決定内容をお知らせいたします。



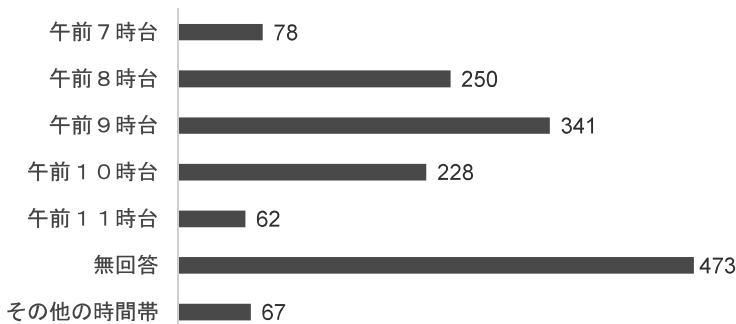
予約制タクシーが運行された場合の利用について



頻繁に移動する移動先  
(複数回答はそれぞれ一票として集計)



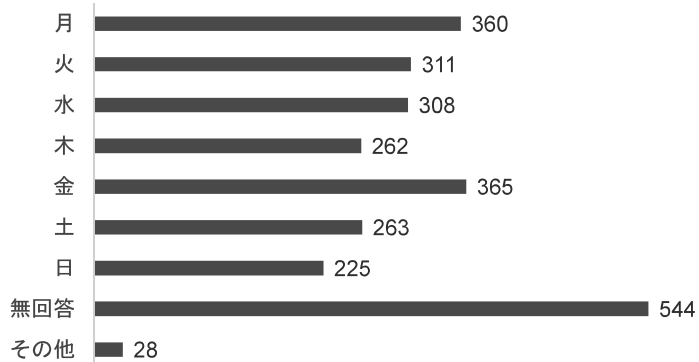
目的地への希望到着時間  
(複数回答はそれぞれ一票として集計)



向こう(柳井駅方面)の希望出発時間  
(複数回答はそれぞれ一票として集計)



運行した場合の運行希望日  
(複数回答はそれぞれ一票として集計)



片道料金として500円の価格的な高低

